

授業科目

労働衛生法規I

担当教員名 橋本 滋	対象学年	3・4	対象学科	救急
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○	○	

授業の概要

各法令について、特に基本的な語句や概念の定義に関わる部分では、正確な語句の確認が不可欠である。
本科目では、業務上疾病の防止管理、労働適正管理、労働能力損失管理を主眼として作られた労働基準法、労働安全衛生法、作業環境測定法などの労働衛生法規の概要について学習する。また、労働災害や職業性疾患の発生機序と招来要因を学びつつ、それらを制御するために定められた法的規制、安全・衛生管理体制の実際について学習する。

授業の目的

1. 各有害因子が及ぼす健康への影響およびそれらの作用メカニズムを理解するとともに、各法令に基づき、安全・衛生管理の要点を理解する。

学習目標

1. 各有害因子が及ぼす健康への影響およびそれらの作用メカニズムを理解するとともに、各法令に基づき、安全・衛生管理の要点を理解する（説明することができる）。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	労働安全衛生法 1	講義	橋本 滋
2	労働安全衛生法 2	講義	橋本 滋
3	労働安全衛生法 3	講義	橋本 滋
4	労働安全衛生法 4	講義	橋本 滋
5	労働安全衛生法 5	講義	橋本 滋
6	THP・その他関連指針	講義	橋本 滋
7	事務所衛生基準規則	講義	橋本 滋
8	中間まとめ	講義	橋本 滋
9	高気圧作業安全衛生規則・酸素欠乏症等防止	講義	橋本 滋
10	作業環境測定法	講義	橋本 滋
11	有機溶剤中毒予防規則	講義	橋本 滋
12	特定化学物質障害予防規則	講義	橋本 滋
13	鉛中毒予防規則・四アルキル鉛中毒予防規則	講義	橋本 滋
14	電離放射線障害予防規則	講義	橋本 滋
15	じん肺法、粉じん則、石綿則	講義	橋本 滋

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	衛生管理（下）第一種用 改訂第7版	中央労働災害防止協会	中央労働災害防止協会	2016年	2,160円	
参考書						
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。					

評価方法

科目試験（100%）
不合格者に対しては、1回再試験を行う。
必要な場合、レポートを課し、その結果も評価対象とする。

履修上の留意点

科目試験の受験資格は、1～15回目の授業のうち10回以上出席を条件とする。

オフィスアワー・連絡先

授業開始時に担当教員より連絡する。